

間接工事費等諸経費動向調査
(令和2年度竣工工事対象)
⑧元請者用電気通信編入力マニュアル
Ver20.01

本調査は、『機器単体費』または『機器間接費（技術者間接費及び機器管理費の合計）』が発生した工事を対象としています。
上記の費用が発生しない工事は対象外です。

調査票提出先及び提出期限

- 1) 元請担当者 → 発注事務所等担当者
(**工事引き渡し日までに**発注事務所等担当者へ提出及び
調査票配布サイト（RepoBox）よりアップロードにて提出)
- 2) 発注事務所等担当者
(**工事完成日から30日以内に**調査票配布サイト（RepoBox）
よりアップロードにて提出。なお、本サイトは令和3年3月
31日まで運用を予定しています。それ以降は、発注担当事務
所等で保管し、後日、提出となる予定です。)

注）縦越等により令和2年度中に完了しなかった工事についても、調査は継続となりますので、本調査票（令和2年度竣工工事対象）により提出してください。

本調査は、公共土木請負工事における諸経費率について、実態調査に基づく検討を行う目的で実施するものです。この調査票に記入された内容を他に漏らすことや、他の目的に使用することは決してありませんので、**事実をありのままに記入していただくようお願いいたします。**

調査票を受領後、調査担当機関より記載事項について聞き取り調査を行うことがあります。その際、根拠となった契約書等の提示を求めることができますので、ご協力のほどお願いいたします。また、**調査票は令和4年3月末頃迄保管していただくようお願いいたします。**

<調査票入力に関する問合せ先>

一般財団法人 國土技術研究センター
技術・調達政策グループ

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-12-1（ニッセイ虎ノ門ビル9階）

TEL 03-4519-5004

FAX 03-4519-5015

※問合せは、平日（祝日を除く月曜日～金曜日）の午前9時30分から12時、午後1時から午後6時の間にお願いします。

國 土 交 通 省

目 次

1 諸経費実態調査の概要	1
1-1 調査の目的	1
1-2 調査の対象設備	1
1-2-1 調査対象費目	1
1-2-2 対象設備区分	1
1-3 調査の内容	4
1-4 入力システム使用上の注意	4
1-4-1 入力について	4
1-4-2 計算方法	5
2 調査対象工事の概要情報調査 入力要領	7
2-1 工事情報入力内容	7
2-2 工事情報の入力例	8
3 機器単体費に関する間接費の実態調査 記入要領 【A票】	9
3-1 機器単体費の費目内訳	9
3-1-1 ハードウェア費	9
3-1-2 ソフトウェア費	11
3-1-3 総合試験調整費	12
3-2 一般管理費等	12
3-3 A票の入力例	13
4 機器間接費の実態調査 記入要領 【B票】	15
4-1 機器間接費の費用内訳	15
4-1-1 技術者間接費	15
4-1-2 機器管理費	16
4-2 B 1 票の入力例	20
4-3 B 2 票の入力例	22
5 施工分担区分の実態調査 記入要領 【C票】	23
5-1 施工分担区分	23
5-2 C票の入力例	23
6 二次製品（LED照明器具）に関する調査 記入要領 【二次製品（LED照明）】	25
6-1 二次製品（LED照明器具）材料費	25
6-2 LED照明器具材料費の間接工事費（率分）対象額の取扱い	25
6-3 二次製品（LED照明）の入力例	25

1 諸経費実態調査の概要

1-1 調査の目的

本調査は、国土交通省が発注する電気通信設備工事のうち、共通仮設費、現場管理費、機器間接費、及び機器単体費に含まれる間接製作費（間接労務費、工場管理費）を調査し、積算基準制定のための資料とするものです。

具体的には、元請者用調査票「⑪元請.xlsx」に入力した、機器単体費及び機器間接費の内訳を明確にするとともに、共通仮設費及び現場管理費等において適切な費用計上を図ることを目的とします。

1-2 調査の対象設備

1-2-1 調査対象費目

電気通信設備工事の一般工事における積算体系は、機器単体費、工事費から構成されており、下図中【】で示す費目が諸経費として位置づけられています。

請負工事費の構成					備考
			直接製作費	材料費 製作費	
		工場製作原価		【間接労務費】 【工場管理費】	純製作費
			間接製作費		
		【一般管理費等】			
			直接工事費		
				【共通仮設費】	純工事費
				【現場管理費】	
			間接工事費	【機器間接費】	
				技術者間接費	
				機器管理費	
		【一般管理費等】			
		消費税相当額			

図 1 電気通信設備工事の積算体系

なお、機器とは、当該機器の製作工場等で機能、性能の確認（品質証明等を含む）がなされて調達されるもので、施工現場においては加工等を必要としないものをいいます。

1-2-2 対象設備区分

この調査の対象となる電気通信設備の区分は以下のとおりとします。

- a) 電気設備
- b) 通信設備
- c) 電子応用設備
- d) その他

対象設備区分毎の機器単体費対象設備内訳を次頁に示します。

表 1 設備区分の内訳

設備区分	設備等名称	機器単体費対象設備
a) 電気設備	受変電設備	①受電盤、き電盤、変圧器盤、配電盤、蓄電池盤、動力盤及び電灯盤（低圧盤）等設備を構成する盤類 ②避雷器、変圧器、遮断機、蓄電池等単体で設備を構成するもの ③直流電源盤及び定電圧定周波盤、監視・制御設備 ④上記①～③に類する装置
	発電機	①発電機又は原動機 ②発電機盤、切替盤、その他受変電設備に準ずる盤類 ③直流電源盤、吸排気・冷却・燃料移送等の補機類 ④監視・制御盤設備 ⑤上記①～④に類する装置
	共同溝電気設備	換気ファン、排水ポンプ、ガス検知器、監視・制御盤・照明盤及び類する装置
b) 通信設備	多重無線通信装置	①多重無線装置 ②空中線及びレドーム ③伝送装置、端局装置及び同ユニット ④遠方監視制御装置、回線監視装置 ⑤上記①～④に類する装置
	テレメータ設備	①監視局の無線装置、空中線、分配器、操作卓、プリンター、表示盤 ②観測局、中継局等の無線装置、空中線、雨量計又は水位計、直流電源装置、太陽電池電源装置 ③上記①、②に類する装置
	放流警報設	①制御監視局の無線装置、空中線、分配器、操作卓、タイプライタ、表示盤 ②警報局の無線装置、空中線、サイレン及びサイレン制御盤、拡声器及び音声增幅装置、放流警報表示機及び同制御盤等 ③中継局はテレメータ設備に準じる ④上記①～③に類する装置
	移動体通信設備	①総括局、統制局の主制御装置、データ回線終端装置、表示制御装置、監視制御端末、時計装置及び監視表示盤 ②基地局の基地局装置、空中線共用装置及び空中線 ③移動局の携帯型及び車載型移動局装置 ④上記①～③に類する装置
	衛星通信地球局設備	①固定型衛星地球局のアンテナ装置、送受信装置、個別通信端局装置、画像端局装置及び回線制御装置 ②可搬型衛星通信地球局のアンテナ装置、送受信装置、端局装置、小型交換装置、画像端局装置、画像設備及び車輌・付帯設備 ③上記①、②に類する装置
	電話交換設備	①自動電話交換装置の本体、操作卓、電話機 ②電話交換設備に付帯するネットワーク装置、変換装置、接続装置 ③上記①、②に類する装置

表 2 設備区分の内訳（続き）

設備区分	設備等名称	機器単体費対象設備
b) 通信設備	トンネル非常警報	トンネル非常警報表示機及び制御機、押しボタン式通報装置、火災検知器、監視・制御盤類、消火器、電話機及び類する装置
	トンネル換気制御設備	煙霧透過率計（VI計）、一酸化炭素検出計（CO計）、風向・風速計のセンサー類、監視・制御盤及び類する装置
	道路情報設備	①道路情報表示板、主制御機、機側操作盤 ②交通量観測装置の超音波感知器等のセンサー類及び制御盤類 ③交通止装置の遮断機、機側操作制御盤、監視・制御盤等 ④道路気象観測装置の各種センサー類（気温、路温、反射比率計、積雪計、雨量計、風向・風速計等）、監視・制御盤類 ⑤上記①～④に類する装置
	CCTV設備	カメラ、固定・電動ズームレンズ、カメラケース、雲台、旋回装置、制御装置、モニターテレビ、操作卓、ネットワーク装置及び類する装置
c) 電子応用設備	レーダー雨（雪）量計設	①レーダ基地局の空中線、導破管加压装置、送受信装置、レーダ動作監視装置、指示装置、通信制御装置 ②データ処理局等の通信制御装置、データ処理装置、ネットワーク装置 ③上記①、②に類する装置
	河川情報処理装置	処理装置、入出力インターフェイス装置、入出力中継装置、データ表示盤（グラフィックパネルを含む）、ネットワーク装置及び類する装置
	ダム・堰制御処理設備	処理装置、入出力インターフェイス装置、入出力中継装置、データ表示盤（グラフィックパネルを含む）、ネットワーク装置及び類する装置
d) その他	その他	①模写電送装置 ②測定器 ③空気調和装置 ④配電盤、制御盤（発注者仕様に基づき個別製作するもの） ⑤発注者仕様に基づき個別製作する照明器具 ⑥光成端箱（発注者仕様に基づき個別製作するもの） ⑦個別製作ソフトウェア ⑧パッケージソフトウェア ⑨ネットワークスイッチ（ラインインターフェースを含む） ⑩光伝送装置 ⑪⑨、⑩に類する装置

1-3 調査の内容

調査の内容は、次の項目とします。

表 3 調査費目の内訳

調査種別	諸経費
① 工事情報 (工場製作に関わる事項)	—
② 機器単体費内訳 (ハードウェア費、ソフトウェア費、総合試験調整費、一般管理費等)	間接労務費 工場管理費 一般管理費等
③ 機器間接費内訳	技術者間接費 機器管理費

1-4 入力システム使用上の注意

1-4-1 入力について

データベースの構築及び入力作業の効率化を図ることを目的として、表計算ソフト「Microsoft Excel」への入力をお願いしております。

【入力に際しての留意点】

- 注1) 入力欄は、未入力がないようにしてください。
- 注2) 金額は、全て千円単位で入力してください。
- 注3) 金額が『0』の場合は、『0』を入力してください。
- 注4) 『※』のセルは必須入力のセルを表します。
数値もしくは該当する内容を入力してください。
- 注5) 『E』の表示は入力内容にエラーがある場合に表示されます。
適切な数値もしくは内容を入力してください。

1-4-2 計算方法

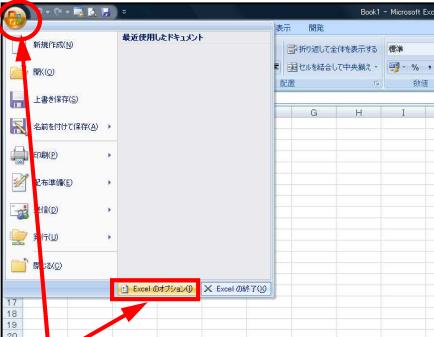
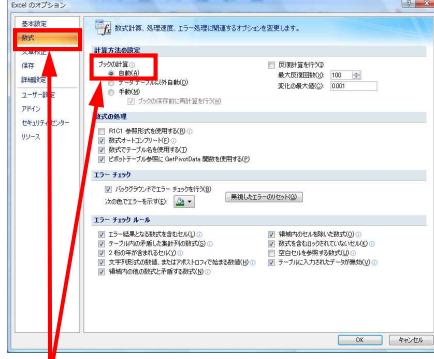
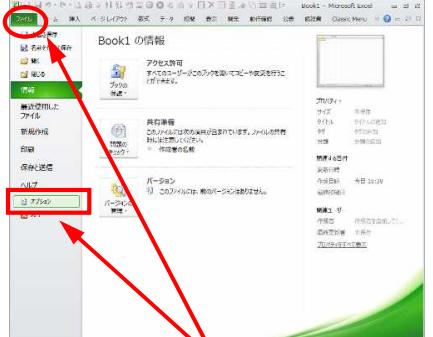
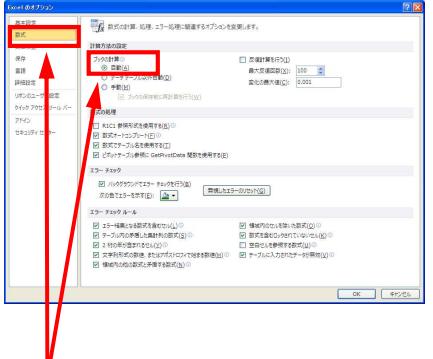
入力システムを操作する前に、以下の設定を必ず行ってください。

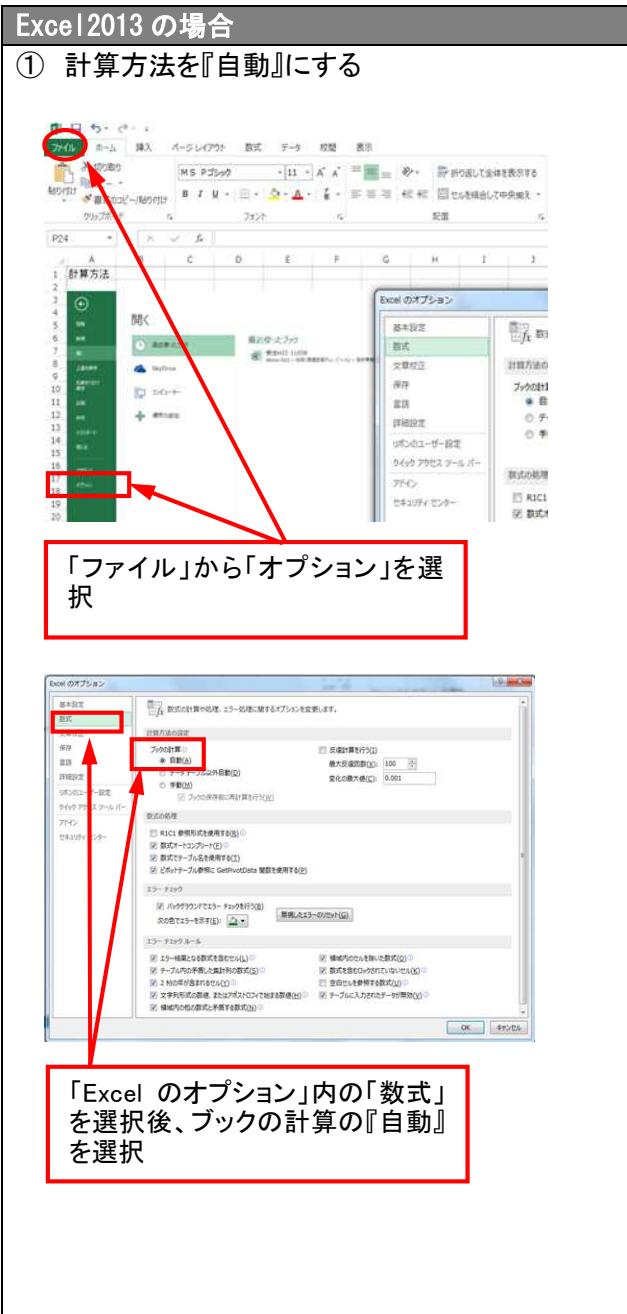
注 1) 使用する Excel のバージョンにより、設定方法が違います。

使用するパソコンの Excel バージョンを確認して、設定を行ってください。

Excel バージョンは、「ヘルプ」メニューの『バージョン情報』を選択すると確認できます。

1-4-2-1 計算方法の設定

Excel2007 の場合	Excel2010 の場合
<p>① 計算方法を『自動』にする</p>  <p>「Office ボタン」から「Excel のオプション」を選択</p>  <p>「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択</p>	<p>① 計算方法を『自動』にする</p>  <p>「ファイル」から「オプション」を選択</p>  <p>「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択</p>



1-4-2-2 提出について

本調査票は、別添の調査票（⑪元請者用）と共に提出してください。

2 調査対象工事の概要情報調査 入力要領

2-1 工事情報入力内容

表 4 調査費目の内訳

入力項目	入力内容
I 工事情報	
①工事名	調査票（元請者用）において入力した工事名称を転記してください。
②請負形態	<p>設備の製造、据付けの有無を下記リストから選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器の製作及び据付け工事 ・機器の支給品がある工事 ・機器の製作のみの工事 ・上記が複合した工事 ・機器単体費の計上無し（機器の支給品がある工事は除く）
③機器の調達方法	<p>機器の調達方法を下記リストから選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他社メーカーより調達 ・自社工場にて製作
④機器製作 工場	機器を製作した工場名と所在地を入力してください。 なお、機器を購入した場合は購入先メーカー名を入力してください。
⑤工場製作期間	工場製作期間の（自）年、月、日と（至）年、月、日をリストより選択してください。
⑥現場据付期間	現場据付期間の（自）年、月、日と（至）年、月、日をリストより選択してください。なお、据付準備も含めます。
⑦設備名	<p>製作した電気通信設備の区分をリストより選択してください。 (別表 5を参照)</p> <p>注)「その他」を選択した場合はその他の内容を入力してください。</p>
整理番号	調査票（元請者用）において入力した整理番号を転記してください。

表 5 ⑦設備名の電気通信設備区分

区 分
受変電設備
発電機
共同溝電気設備
多重無線通信装置
テレメータ設備
放流警報設備
移動体通信設備
衛星通信地球局設備
電話交換設備
トンネル非常警報
トンネル換気制御設備
道路情報設備
CCTV 設備
レーダ雨（雪）量計設備
河川情報処理装置
ダム・堰制御処理設備
その他

2-2 工事情報の入力例

①入力前

◎ 注意事項

- * 薄黄色塗りつぶし部分についてのみ、漏れなく入力して下さい。
- * 該当する内容が無い場合は「-」等を入力し、空欄を残さないようにお願いします。
- * その他の箇所はシートの書換等を防ぐ為、入力できません。

I 工事情報		整理番号: <input type="text"/>				
① 工事名	※					
② 請負形態	※					
③ 機器の調達方法	※					
④ 機器製作 工場	工場名 所在地	※				
⑤ 工場製作 期 間 (自)	(至)	※	和暦	年	月	日
		※	和暦	年	月	日
⑥ 現場据付 期 間 (自)	(至)	※	和暦	年	月	日
		※	和暦	年	月	日
⑦ 設備名						
⑦ その他の設備の内容	※					

※印は未入力欄です。
入力すると※印が消えます。

②入力後

I 工事情報		整理番号: <input type="text" value="12345"/>					
① 工事名	○○地区CCTV設置工事						
② 請負形態	機器の製作及び据付け工事						
③ 機器の調達方法	自社工場にて製作						
④ 機器製作 工場	工場名 所在地	○○工場 ○○県○○市○○町					
⑤ 工場製作 期 間 (自)	(至)	和暦	令和元 年	4 月	3 日		
		和暦	令和3 年	2 月	26 日		
⑥ 現場据付 期 間 (自)	(至)	和暦	令和4 年	1 月	2 日		
		和暦	令和4 年	2 月	27 日		
⑦ 設備名	CCTV設備						
⑦ その他の設備の内容							

3 機器単体費に関する間接費の実態調査 記入要領 【A票】

3-1 機器単体費の費目内訳

電気通信設備の構成要素であるハードウェア費、ソフトウェア費について、費目内訳を入力してください。

3-1-1 ハードウェア費

機器単体費の機能を実現する為の電気・電子回路、周辺機器、収容筐体等の物理的実態費用の合計であり、個別製作費及び既製品費で構成されます。

3-1-1-1 個別製作費

ハードウェア費のうち、既製品費以外の費用です。

表 6 個別製作品費の内訳

費目内訳	内 容
イ. 直接製作費	<p>ハードウェアの製作設計・熱設計・実装設計・架内配線設計、機器・部品の調達、加工・組立て、ファームウェアの製作・組込み等の個別製作に要する既製品費以外の費用</p> <p>材料費：製作にあたって、直接及び補助的に使用される材料の費用 労務費：当該部門に直接従事した従業員に支払われる基準内賃金と基準外賃金、諸手当、賞与、退職金及び退職給与引当金繰越金。</p>
ロ. 間接製作費	<p>個別製作費に係わる直接費以外の間接費用</p> <p>間接労務費：工場における間接工・工場管理業務に従事した従業員に支払われる基準内給与、諸手当、賞与、退職金及び退職給与引当金繰越金。</p> <p>工場管理費：別表 7を参照してください。</p>

表 7 工場管理費の内訳

費目内訳	内 容
イ. 消耗工具備品費	工場における消耗工具、備品等の費用
ロ. 工場消耗品費	工場における消耗品等の費用
ハ. 事務用品費	工場における事務用消耗品、新聞、参考図書等の購入費
ニ. 修繕維持費	工場の建物、機械、装置等の修繕推持費、倉庫物品の管理費等
ホ. 交通通信費	工場における通信費、交通費及び旅費
ヘ. 会議費	工場における会議に要する費用
ト. 交際費	工場における来客等の対応に要する費用
チ. 法定福利費	工場従業員に関する労災保険料、雇用保険料・健康保険料及び厚生年金保険料の法定事業主負担額等に要する費用
リ. 福利厚生費	工場従業員に係わる慰安娛樂、貸与被服、医療、慶弔見舞い等福利厚生、文化活動等に要する費用
ヌ. 動力用水光熱費	工場における電気料、水道料、ガス料、重油等燃料費等に要する費用
ル. 印刷製本費	工場における資料のコピー、写真、印刷製本等に要する費用
ヲ. 試験試作費	機械等の検査料及び製品開発、研究、試作等に要する費用
ワ. 教育訓練費	工場における技能養成、啓発、資格取得、安全訓練等に要する費用
カ. 地代家賃	工場の土地、建物等の借地料に要する費用
ヨ. 保険料	工場の建物、機械、自動車等の損害保険料、火災保険に要する費用
タ. 租税公課	固定資産税、自動車税、軽自動車税等の租税公課 ただし、機械経費の機械器具等損料に計上された粗税公課は除く。
レ. 減価償却	工場の有形固定資産、無形固定資産、繰延資産等の償却に要する費用
ソ. 製作外注経費	製品の加工・塗装等を専門業者等に外注する場合に必要となる費用
ツ. 工場内運搬費	製品の工場内運搬等に要する費用
ネ. 雑費等	上記イ～ツまでに属さない諸雑費

3-1-1-2 既製品費

既製品又は計画的に製作された市場流通品であり、製品費、製品検査費、購入販売管理費の合計です。

表 8 ハードウェア既製品費の内訳

費目内訳	内 容
イ. 製品費	当該製品の市場流通価格
ロ. 製品検査費	当該製品を、複数の製品又は個別製作品又はソフトウェア等と組合せ、一体的に機能させる為の当該製品に対する単品検査に要する直接人件費
ハ. 購入販売管理費	既製品費の購入又は販売品の管理に要する費用 ⇒ 一般管理費等に含まれます。 注) 入力の必要はありません。

3-1-2 ソフトウェア費

機器の機能を実現する為のプログラム費用の合計であり、ソフトウェア製作費、既製品費で構成されます。

3-1-2-1 ソフトウェア製作費

既製品以外のソフトウェアの製作に要する費用であり、直接費、製作間接費で構成されます。

表 9 ソフトウェア製作費の内訳

費目内訳	内 容
イ. 直接製作費	アプリケーションソフトウェアのプログラム設計、コーディング、デバッグ及び既製品ソフトウェアとアプリケーションソフトウェアをインターフェースするモジュールに係わるプログラム設計、コーディング、デバッグ等に要する直接人件費
ロ. 間接製作費	ソフトウェア製作費に係わる直接費以外の間接費用で、表 10に示す費用の合計

※ 直接人件費：従業員に支払われる基準内給与、諸手当、賞与、退職金及び退職給与引当金繰越金。

表 10 工場管理費の内訳

費目内訳	内 容
イ. 消耗工具備品費	ソフトウェア製作部門における消耗工具、備品等の費用
ロ. 消耗品費	ソフトウェア製作部門における消耗品等の費用
ハ. 事務用品費	ソフトウェア製作部門における事務用消耗品、新聞、参考図書等の購入費
ニ. 修繕維持費	ソフトウェア製作部門の建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等
ホ. 交通通信費	ソフトウェア製作部門における通信費、交通費及び旅費
ヘ. 会議費	ソフトウェア製作部門における会議に要する費用
ト. 交際費	ソフトウェア製作部門における来客等の対応に要する費用
チ. 法定福利費	ソフトウェア製作部門の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定事業主負担額等に要する費用
リ. 福利厚生費	ソフトウェア製作部門の従業員に係わる慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞い等福利厚生、文化活動等に要する費用
ヌ. 動力用水光熱費	ソフトウェア製作部門における電気料、水道料、ガス料、重油等燃料費等に要する費用
ル. 印刷製本費	ソフトウェア製作部門における資料のコピー、写真、印刷製本等に要する費用
ヲ. 教育訓練費	ソフトウェア製作部門における技能養成、啓発、資格取得、安全訓練等に要する費用
ワ. 雑費等	上記イ～ヲまでに属さない諸雑費

3-1-2-2 既製品費

既製品又は計画的に製作された市場流通品のソフトウェアであり、製品費、製品検査費、購入販売管理費の合計の費用です。

表 11 ソフトウェア既製品費の内訳

費目内訳	内 容
イ. 製品費	当該製品の市場流通価格であり、オペレーティングシステム、パッケージソフト、ミドルウェア等の市場流通ソフトウェアの費用
ロ. 製品検査費	当該製品を、複数の製品又は個別製作品又はソフトウェア等の組合せ、一体的に機能させる為の当該製品に対する単品検査に要する直接人件費
ハ. 購入販売管理費	既製品費の購入又は販売品の管理に要する費用 ⇒ 一般管理費等に含まれます。 注) 入力の必要はありません。

3-1-3 総合試験調整費

電気通信設備の各機器を組み合わせ、現地設備として機能させることを前提とした工場内での総合調整に要する経費です。

3-2 一般管理費等

工場製作にかかる本支店経費（販売等経費を含む）及び付加利益です。
費用の計上方法も併せて入力してください。

- 例： 1. 一律方式で請負金額に○%割掛ける。
- 2. 一律方式で当初積算の工場製作原価に○%割掛ける。
- 3. その他

3-3 A票の入力例

①入力前

◎ 注意事項

* 機器単体費に関わる費用を計上して下さい。

【原価管理上、機器製作期間外(工場出荷以降)に発生した機器に係る費用は、B票の内訳に入力して下さい。】

* 薄黄色塗りつぶし部分についてのみ、漏れなく入力して下さい。

* 費用が発生しない場合は「0」を入力し、空欄を残さないようにお願いします。

* 元請実績分と下請実績分の合計額が工事全体の金額となります。金額が重複しないように注意して下さい。

【A票】機器単体費に関する調査票				
【間接労務費、工場管理費等】				
費目・項目	元請実績	下請実績	元下合計	(単位:千円)
機器単体費	0	0	0	
ハードウェア費	0	0	0	
個別製作品費	0	0	0	
直接製作費 (直接製作費)			0	※
間接製作費	0	0	0	
① 間接労務費			0	※
② 工場管理費			0	※
既製品費	0	0	0	
製品費 (直接製作費)			0	※
製品検査費 (間接労務費)			0	※
販売購入管理費 (一般管理費等)	一般管理費等に含む			
ソフトウェア費	0	0	0	
ソフトウェア製作費	0	0	0	
直接製作費 (間接労務費)			0	※
間接製作費 (工場管理費)			0	※
既製品費	0	0	0	
製品費 (直接製作費)			0	※
製品検査費 (間接労務費)			0	※
販売購入管理費 (一般管理費等)	一般管理費等に含む			
総合試験調整費 (間接労務費)			0	※
外注費(税抜き)			(0)	※
外注一般管理費 (工場管理費)		0	0	
一般管理費等			0	※
本支店経費の計上方法				※
機器単体費計		0		

※印は未入力欄です。
入力すると※印が消えます。

【A票】元請ファイル「工事費」シート入力値とのチェック結果		
項目・費目	元請ファイルの入力値 (元請+元請外注)	チェック
⑤鋼橋等工場製作費(電気通信設備工事の場合は機器単体費)		OK

※1)チェック欄には、「OK」もしくは「NG」が表示されますが、全ての入力を終えるまでは「NG」と表示されています。
「OK」は、元請ファイルの入力金額と機器単体費の合計金額が一致している。「NG」は、両者の合計金額が異なることを示します。

※2)全ての入力を終えた後においても「NG」と表示されている場合は、元請けファイル入力金額と本票への入力金額を再度確認してください。

※3)()は元請ファイルにおける呼び名です。

【経費入力の留意点】

注 1) 工場製作に関わる費用を計上してください。

原価管理上、機器単体費予算内であっても据付現場経費として発生した費用は、【B票】の内訳に入力してください。

注 2) 『機器単体費』が発生しない場合 (工事情報において「④請負形態」入力欄で『機器の支給品がある工事』を選択した場合) は、入力欄に『0』等を入力し、未入力をなくしてください。

注 3) 機器を自社製造せずに他社から調達した場合は、調達先メーカーに調査の協力をお願いしていただき、下請欄に費用を入力してください。

注 4) 『元請者用入力システム (⑪元請.xlsx)』の『工事費シート』の『⑤鋼橋等工場製作費 (電気通信設備工事の場合は、機器単体費)』と本調査票【A票】の『機器単体費計』の金額は一致させてください。

②入力後

◎ 注意事項

* 機器単体費に関わる費用を計上して下さい。

【原価管理上、機器製作期間外(工場出荷以降)に発生した機器に係る費用は、B票の内訳に入力して下さい。】

* 薄黄色塗りつぶし部分についてのみ、漏れなく入力して下さい。

* 費用が発生しない場合は「0」を入力し、空欄を残さないようにお願いします。

* 元請実績分と下請実績分の合計額が工事全体の金額となります。金額が重複しないように注意して下さい。

【A票】機器単体費に関する調査票

【間接労務費、工場管理費等】

(単位:千円)

費目・項目	元請実績	下請実績	元下合計	チェック
機器単体費	56,750	21,350	78,100	
ハードウェア費	55,200	16,650	71,850	
個別製作品費	47,000	11,650	58,650	
直接製作費 (直接製作費)	40,000	10,000	50,000	
間接製作費	7,000	1,650	8,650	
① 間接労務費	5,500	1,650	7,150	
② 工場管理費	1,500	0	1,500	
既製品費	8,200	5,000	13,200	
製品費 (直接製作費)	8,000	5,000	13,000	
製品検査費 (間接労務費)	200	0	200	
販売購入管理費 (一般管理費等)				一般管理費等に含む
ソフトウェア費	1,550	4,700	6,250	
ソフトウェア製作費	750	4,500	5,250	
直接製作費 (間接労務費)	600	3,000	3,600	
間接製作費 (工場管理費)	150	1,500	1,650	
既製品費	800	200	1,000	
製品費 (直接製作費)	500	0	500	
製品検査費 (間接労務費)	300	200	500	
販売購入管理費 (一般管理費等)				一般管理費等に含む
総合試験調整費 (間接労務費)	200	100	300	
外注費(税抜き)	25,000		(25,000)	
外注一般管理費 (工場管理費)		3,550	3,550	
一般管理費等	6,000		6,000	
本支店経費の計上方法	一律方式で当初積算の工場製作原価に10%を割掛ける。			
機器単体費計			87,950	

【A票】元請ファイル「工事費」シート入力値とのチェック結果

(単位:千円)

項目・費目	元請ファイルの入力値 (元請+下請外注)	チェック
⑤鋼橋等工場製作費(電気通信設備工事の場合は機器単体費)	87,950	OK

※1)チェック欄には、「OK」もしくは「NG」が表示されますが、全ての入力を終えるまでは「NG」と表示されています。

「OK」は、元請ファイルの入力金額と機器単体費の合計金額が一致している、「NG」は、両者の合計金額が異なることを示します。

※2)全ての入力を終えた後においても「NG」と表示されている場合は、元請けファイル入力金額と本票への入力金額を再度確認してください。

※3)()は元請ファイルにおける呼び名です。

調査対象工事の入力済み『元請者用入力システム (⑪元請.xlsx)』から
転記して下さい。

表示されている金額と【A票】で入力した合計金額が一致すると『OK』、
不一致の場合は『NG』が表示されます。

必ず『OK』となるように入力してください。

4 機器間接費の実態調査 記入要領 【B票】

4-1 機器間接費の費用内訳

機器間接費の構成要素である技術者間接費及び機器管理費について、費目内訳を入力してください。

4-1-1 技術者間接費

技術者間接費は、機器の調整及びシステム・インテグレーションのために製作工場等から派遣される技術者等に対する、製作工場等にかかる経費で次の項目及び内容です。

表 12 技術者間接費の内訳

費目内訳	内 容
イ. 従業員給与手当	当該製作工場等の間接部門の従業員(以下、「間接部門従業員」という。)の給料、諸手当及び賞与
ロ. 退職金	間接部門従業員に係る退職金及び退職給与引当金繰込額
ハ. 法定福利費	間接部門従業員に係る労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額
ニ. 福利厚生費	間接部門従業員に係る慰安娛樂、貸与被服、医療、慶弔見舞等福利厚生、文化活動等に要する費用
ホ. 補助材料及び工場消耗品費	機器等の調整における消耗工具、備品等及び消耗品等の費用
ヘ. 事務用品費	機器等の調整における事務用消耗品類の購入費及び新聞、図書、雑誌等の購入費
ト. 通信交通費	機器等の調整における派遣技術者の現場への移動 等
チ. 雑費	イからトまでに属さない諸費用

4-1-2 機器管理費

(1) B 1票：計上費目

機器管理費は、工事施工にあたって機器の調達、機器の施工現場での適切な管理等に要する経費で、次の項目及び内容です。

表 13 機器管理費の計上費目

費目内訳	内 容
イ. 機器の施工現場における管理に 係る費用	機器の施工現場内での保管に必要な安全施設、安全管理及 び運搬等に要する費用
ロ. 技術管理に要する費用	機器の品質管理のための施工現場における試験・検査及び 試運転等に要する費用
ハ. 保険料	機器の施工現場内における火災保険、損害保険等の保険料
二. 機器の調達に要する費用	機器の調達、製作の調整等に要する費用
ホ. 訓練等に要する費用	機器の操作運用に関して発注者等への教育訓練に要する 費用
ヘ. 機器製作期間中の現場経費	機器製作期間がある場合に期間中の施工現場の安全管理 等に要する費用
ト. 事務用品費	機器の調達、施工現場での管理における事務用消耗品類の 購入費及び新聞、図書、雑費等の購入費
チ. 通信交通費	機器の調達、施工現場での管理における派遣技術者の現場 への移動等
リ. 雑費	イからチまでに属さない諸費用

(2) B 2票：計上費用の内訳

上記計上した原価について、費目別に具体的な費用の内容を記載して下さい。

なお、費用内訳の記載は以下の費目を対象とします。

- イ. 機器の施工現場管理費
- ロ. 技術管理費
- ハ. 保険料
- ニ. 機器の調達費
- ホ. 訓練等費
- ヘ. 機器製作期間中の現場経費

(3) 費用計上の留意事項

平成 21 年度に制定された積算体系上の新規費目のため、費用計上においては従来の原価管理費用からの抽出計上となります。

従って、費用計上の際には以下の計上フローを参考にして下さい。

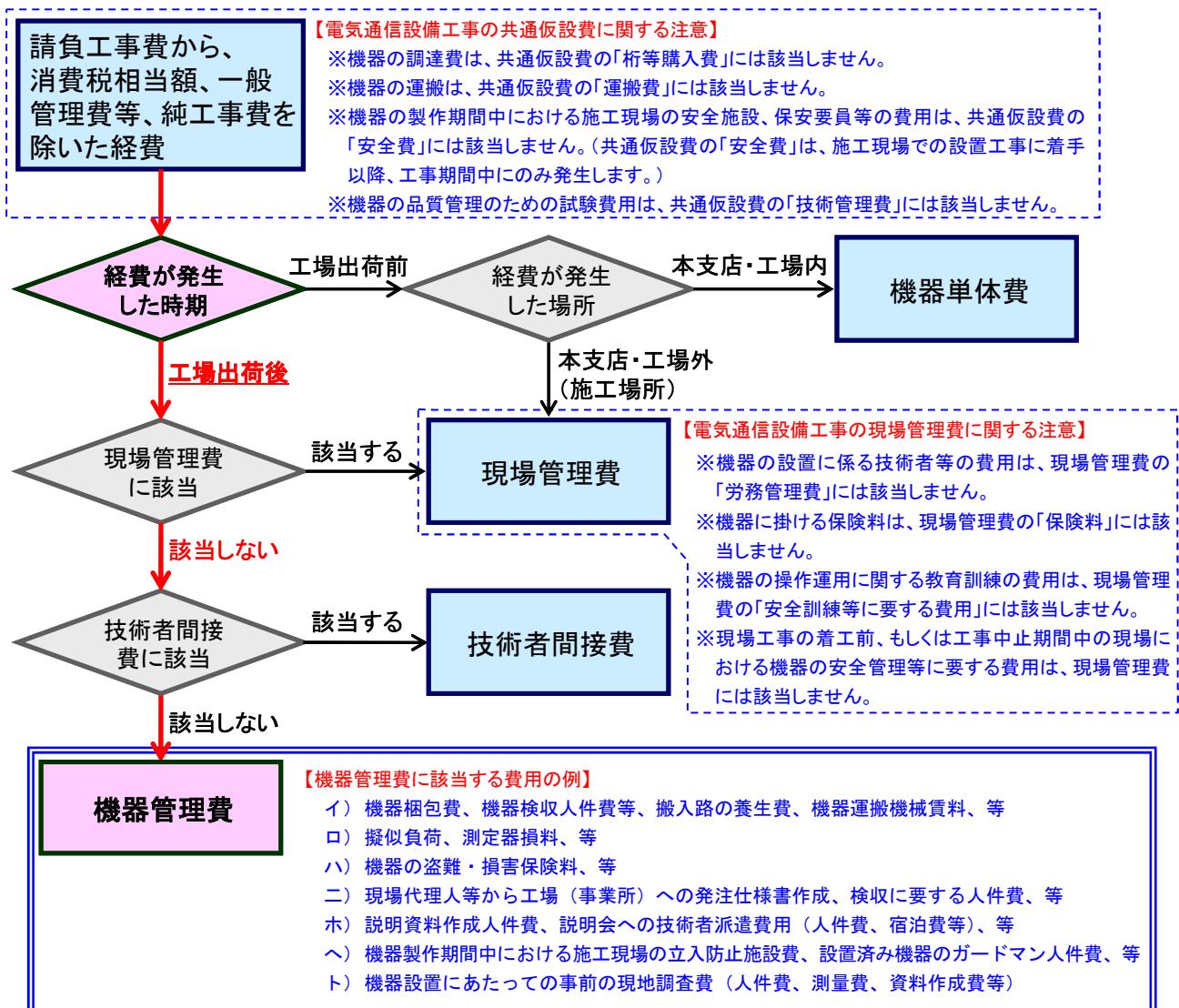


図 2 機器管理費の抽出計上フロー

(4) 計上費目別注意事項

本調査票における費用計上の注意事項を費目欄別に下表に示します。

費目	注意事項
イ. 機器の施工現場管理費	<ul style="list-style-type: none"> 共通仮設費率分の“運搬費”には、“機器の運搬”は該当しません。 工場～現場到着までの運搬経費は“輸送費”に計上し、現場到着(搬入)後の運搬経費は“機器管理費”に計上してください ※ 共通仮設費率分の“安全費”には、“機器の保管”に要した費用を含みません。
ロ. 技術管理費	<ul style="list-style-type: none"> 共通仮設費率分の“技術管理費”には、“機器の試験・検査・試運転・調整”に要した費用を含みません。 ※ 現場納入前の“機器の試験・検査・試運転・調整”は機器単体費の総合試験調整費や間接労務費で計上するようにして下さい。
ハ. 保険料	<ul style="list-style-type: none"> 機器に掛けた保険料(盗難・損害保険料等)は、現場管理費の保険料とは切り分けて計上して下さい。
二. 機器の調達費	<ul style="list-style-type: none"> 現場施工に着手する以前、もしくは現場工事中止期間中の機器発注等に要する<u>工事部門の経費</u>は、全て機器管理費に該当します。 機器製作期間中、もしくは着工前や現場工事の中止期間など現場工事が動いていない期間中における現場代理人・主任技術者等の経費は、機器管理費から発生します。 ※ 現場代理人等から工場(事業所)への発注仕様書作成、検収に要する人件費等
ホ. 訓練等費	<ul style="list-style-type: none"> 機器の操作マニュアル作成に要した人件費等の費用および操作説明のために工場から派遣される技術者の人件費、交通費、宿泊費、日当等は当費目に計上して下さい。 機器単体費の間接労務費や技術者間接費に計上しないように注意して下さい。
ヘ. 機器製作期間中の現場経費	<ul style="list-style-type: none"> 上記(二)の考え方と同様に、機器製作期間中(現場工事に着手していない期間)に発生した<u>工事部門の経費</u>は、全て機器管理費に計上して下さい。 工事中止期間中の現場における機器の管理に要する費用は機器管理費に、同期間中の機器以外の工事目的物を管理するための費用は共通仮設費等に、それぞれ区分して計上してください。 ※「いつ発生した経費なのか」、「経費が発生したとき、現場施工に着手していたか」等、「時間軸」に注意して費用を計上して下さい。
ト. 事務用品費	<ul style="list-style-type: none"> 経費発生の時期(現場工事に着手していない期間)に注意して、工事部門で発生した費用を可能な限り分類・計上して下さい。
チ. 通信交通費	
リ. 雑費	

(5) 費用計上におけるQ&A

	Q	現場が動いていない期間、すなわち、工場製作期間中における現場代理人・主任技術者等の経費はどこから出るのか？
①	A	<p>機器管理費から出ます。機器管理费率の掛け方を見れば明白なように、機器管理費は機器単体費から算出されているので、次のように整理されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工場製作期間中の当該人件費他の経費は機器単体費から算定される機器管理費から捻出される。 ・ 現場施工期間中（着工～施工完了まで）の当該人件費他の経費は、工事費（歩掛）から算定される共通仮設費・技術者間接費・現場管理費等から捻出される。 <p>したがって、機器調達のための仕様書作成・調達（工場への発注）人件費等は、現場工事着手前に発生する経費であることから、全て機器管理費に該当します。</p>
②	Q	工事部門の経費は、実際に設置作業を開始するまでは機器管理費とするが、機器を製作している間に、基礎構築作業をしていた場合、どうやって費用を振り分けるのか？
②	A	<p>工場製作と現場施工が並行作業で行われた場合は、機器管理費と工事部門（現場）の両方から経費が発生します。</p> <p>つまり、機器管理費から発生した経費は工場への現地調査（測量、墨出し等）や機器発注仕様の作成等の人件費等として支出され、また、基礎工事に関しては現場工事費の間接費として経費が発生し、下請け基礎工事業者への発注等の経費として支出されることになります。</p> <p>なお、上記経費が一括されて原価管理されていて分離困難な場合は、工事費全体に占める機器製作費・現場工事費等の割合で按分する等の方法で計上してください。</p>
③	Q	機器を段階的に製作して、何回かにまとめて納入する場合、第2段納入までに第1段納入を設置している間の機器管理費はどうやって計上するのか？
③	A	<p>機器製作を数段階に分けて製作し、順次、現場に搬入する場合、工場製作が続いている期間中は、（調達に関する）機器管理費が発生し続けると考えます。</p> <p>また、先行して現場に搬入された機器については、現場工事に着手後となるため、機器管理費とともに現場工事部門の経費（現場管理費等）も同時に発生します。</p> <p>さらに、先行して現場に搬入した機器については、当該機器の現場での保管や安全管理等に必要な費用（すなわち、機器管理費）が発生します。</p> <p>つまり、工場製作と現場施工が並行している期間中は、両方から経費が発生すると考えてください。</p>

4-2 B 1 票の入力例

①入力前

◎ 注意事項

* 据付現場に関わる機器間接費を計上して下さい。

【費用計上の留意点】

- 原価管理上、現場工事が動いていない期間中(着工前)に製作工場内で発生した費用は、A票の内訳に入力して下さい。
- 以下費用は共通仮設費および現場管理費に計上せず、機器管理費として下さい。
 - ・機器の運搬、機器の製作期間中における機器のための安全施設、保安要員等の費用、機器の品質管理のための試験費用
 - ・機器の調達、機器設置にあたり工場出荷前に行う現場における測量・計測等に係る技術者等の費用、機器に掛ける保険料

* 薄黄色塗りつぶし部分についてのみ、漏れなく入力して下さい。

* 費用が発生しない場合は「0」を入力し、空欄を残さないようにお願いします。

* 元請実績分と下請実績分の合計額が工事全体の金額となります。金額が重複しないように注意して下さい。

【B1票】機器間接費の原価内訳調査

費目・項目	元請実績	下請実績	元下合計	(単位:千円)	チェック
機器間接費	0	0	0		
技術者間接費	0	0	0		
イ. 従業員給与手当			0		※
ロ. 退職金			0		※
ハ. 法定福利費			0		※
二. 福利厚生費			0		※
ホ. 補助材料および工場消耗品			0		※
ヘ. 事務用品費			0		※
ト. 通信交通費			0		※
チ. 雑費			0		※
機器管理費	0	0	0		
イ. 機器の施工現場管理費			0		※
ロ. 技術管理費			0		※
ハ. 保険料			0		※
二. 機器の調達費			0		※
ホ. 訓練等費			0		※
ヘ. 機器製作期間中の現場経費			0		※
ト. 事務用品費			0		※
チ. 通信交通費			0		※
リ. 雑費			0		※
【機器管理費に該当する費用の例】					
イ)機器梱包費、機器検収人件費等、搬入路の養生費、機器運搬機械賃料、等					
ロ)擬似負荷、測定器損耗料、等					
ハ)機器の盗難・損害保険料、等					
二)現場代理人等から工場(事業所)への発注仕様書作成、検収に要する人件費、等					
ホ)説明資料作成人件費、説明会への技術者派遣費用(人件費、宿泊費等)、等					
ヘ)機器製作期間中ににおける施工現場の立入防止施設費、設置済み機器のガードマン人件費、等					

※印は未入力欄です。

入力すると※印が消えます。

項目・費目	元請ファイルの入力値 (元請+元請外注)	チェック
(4) 機器間接費		OK
イ 技術者間接費 (電気通信設備工事の場合)		OK
ロ 機器管理費 (電気通信設備工事の場合)		OK

※1)チェック欄には、「OK」もしくは「NG」が表示されますが、全ての入力を終えるまでは「NG」と表示されています。

「OK」は、元請ファイルの入力金額と機器間接費の合計金額が一致している、「NG」は、両者の合計金額が異なることを示します。

※2)全ての入力を終えた後においても「NG」と表示されている場合は、元請けファイル入力金額と本票への入力金額を再度確認してください。

※3)()は元請けファイルにおける呼び名です。

【経費入力の留意点】

注1) 据付現場に関わる費用を計上して下さい。

原価管理上、現場予算内であっても工場製作経費として発生した費用は、【A票】の内訳に入力してください。

注2) 『機器間接費(技術者間接費及び機器管理費の合計)』が発生しない場合(工事情報において「④請負形態」入力欄で『機器の製作のみの工事』を選択した場合)は、入力欄に『0』等を入力し、未入力をなくしてください。

注3) 『元請者用入力システム(⑪元請.xlsx)』の『工事費シート』の『②間接工事費(4)機器間接費』、『イ 技術者間接費』及び『ロ 機器管理費』と本調査票【B票】の『機器間接費』、『技術者間接費』及び『機器管理費』の金額は一致させてください。

(2)入力後

◎ 注意事項

* 据付現場に関わる機器間接費を計上して下さい。

【費用計上の留意点】

- 原価管理上、現場工事が動いていない期間中(着工前)に製作工場内で発生した費用は、A票の内訳に入力して下さい。
- 以下費用は共通仮設費および現場管理費に計上せず、機器管理費として下さい。
 - ・機器の運搬、機器の製作期間中における機器のための安全施設、保安要員等の費用、機器の品質管理のための試験費用
 - ・機器の調達、機器設置にあたり工場出荷前に行う現場における測量・計測等に係る技術者等の費用、機器に掛ける保険料

* 薄黄色塗りつぶし部分についてのみ、漏れなく入力して下さい。

* 費用が発生しない場合は「0」を入力し、空欄を残さないようにお願いします。

* 元請実績分と下請実績分の合計額が工事全体の金額となります。金額が重複しないように注意して下さい。

【B1票】機器間接費の原価内訳調査

(単位:千円)

費目・項目	元請実績	下請実績	元下合計	チェック
機器間接費	990	0	990	/
技術者間接費	600	0	600	/
イ. 従業員給与手当	200	0	200	
ロ. 退職金	20	0	20	
ハ. 法定福利費	50	0	50	
二. 福利厚生費	0	0	0	
ホ. 補助材料および工場消耗品	150	0	150	
ヘ. 事務用品費	30	0	30	
ト. 通信交通費	100	0	100	
チ. 雑費	50	0	50	
機器管理費	390	0	390	/
イ. 機器の施工現場管理費	10	0	10	
ロ. 技術管理費	20	0	20	
ハ. 保険料	10	0	10	
二. 機器の調達費	100	0	100	
ホ. 訓練等費	100	0	100	
ヘ. 機器製作期間中の現場経費	100	0	100	
ト. 事務用品費	20	0	20	
チ. 通信交通費	20	0	20	
リ. 雑費	10	0	10	

【機器管理費に該当する費用の例】

- イ) 機器梱包費、機器検収人件費等、搬入路の養生費、機器運搬機械賃料、等
- ロ) 擬似負荷、測定器損料、等
- ハ) 機器の盗難・損害保険料、等
- 二) 現場代理人等から工場(事業所)への発注仕様書作成、検収に要する人件費、等
- ホ) 説明資料作成人件費、説明会への技術者派遣費用(人件費、宿泊費等)、等
- ヘ) 機器製作期間中における施工現場の立入防止施設費、設置済み機器のガードマン人件費、等

元請ファイル「工事費」シート入力値とのチェック結果

(単位:千円)

項目・費目	元請ファイルの入力値 (元請+元請外注)	チェック
(4)機器間接費	990	OK
イ 技術者間接費 (電気通信設備工事の場合)	600	OK
ロ 機器管理費 (電気通信設備工事の場合)	390	OK

※1)チェック欄には、「OK」もしくは「NG」が表示されますが、全ての入力を終えるまでは「NG」と表示されています。

「OK」は、元請ファイルの入力金額と機器間接費の合計金額が一致している、「NG」は、両者の合計金額が異なることを示します。

※2)全ての入力を終えた後においても「NG」と表示されている場合は、元請けファイル入力金額と本票への入力金額を再度確認してください。

※3)()は元請ファイルにおける呼び名です。

調査対象工事の入力済み『元請者用入力システム (⑪元請.xlsx)』から
転記して下さい。

表示されている金額と【B票】で入力した合計金額が一致すると『OK』、
不一致の場合は『NG』が表示されます。

必ず『OK』となるように入力してください。

4-3 B 2 票の入力例

①入力前

【B2票】機器管理費の内訳調査

B1票で計上した機器管理費の各種費用について、計上した主な費用の内容を記載して下さい。

費目	計上した費用の具体的な内容
イ. 機器の施工現場管理費	
ロ. 技術管理費	
ハ. 保険料	
ニ. 機器の調達費	
ホ. 訓練等費	
ヘ. 機器製作期間中の現場経費	

②入力後

(以下、記載例です。これ以外にも該当する費用があれば、実態をありのままに記載してください。)

【B2票】機器管理費の内訳調査

B1票で計上した機器管理費の各種費用について、計上した主な費用の内容を記載して下さい。

費目	計上した費用の具体的な内容
イ. 機器の施工現場管理費	搬入路の養生費、機器運搬機械賃料
ロ. 技術管理費	擬似負荷、測定器損耗
ハ. 保険料	機器の盗難・損害保険料
ニ. 機器の調達費	現場代理人等から工場(事業所)への発注仕様書作成、検収に要した人件費 機器設置にあたっての事前の現地調査費(人件費、測量費、資料作成費等)
ホ. 訓練等費	説明資料作成人件費、説明会への技術者〇人×〇日の派遣費用(人件費、宿泊費)
ヘ. 機器製作期間中の現場経費	機器製作期間中における施工現場の立入防止施設費、設置済み機器のガードマン人件費

5 施工分担区分の実態調査 記入要領 【C票】

5-1 施工分担区分

調査対象工事の工種のうち、下請へ外注した工種の種別、細別及び施工分担比率を入力してください。

5-2 C票の入力例

①入力前

◎ 注意事項					
* 施工分担区分について入力して下さい。 元請ファイルの「下請入力」シート欄で入力した工種の種別、細別及び施工分担比率を入力して下さい。					
* 薄黄色塗りつぶし部分について入力して下さい。 * 元請施工比率及び下請施工比率は元下合計が100%になるように入力してください。 * 元請の施工比率が100%の工種については入力不要です。 * 入力できる種別件数は200件です。					
【C票】施工分担区分の調査					
種 別	細 別	元請 施工比率(%)	下請 施工比率(%)	元下合計 (%)	チェック
1				0	
2				0	
3				0	
4				0	
5				0	
6				0	
7				0	
8				0	
9				0	
10				0	
11				0	
12				0	
13				0	
14				0	
15				0	
16				0	
17				0	
18				0	
19				0	
20				0	

②入力後

◎ 注意事項

* 施工分担区分について入力して下さい。
元請ファイルの「下請入力」シート欄で入力した工種の種別、細別及び施工分担比
* 薄黄色塗りつぶし部分について入力して下さい。
* 元請施工比率及び下請施工比率は元下合計が100%になるように入力してください。
* 元請の施工比率が100%の工種については入力不要です。
* 入力できる種別件数は200件です。

【C票】施工分担区分の調査					
種 別	細 別	元請 施工比率(%)	下請 施工比率(%)	元下合計 (%)	チェック
1 作業土工	床掘り	0	100	100	
2 作業土工	埋戻し	0	100	100	
3 電気通信設備基礎工	コンクリート基礎	50	50	100	
4 舗装取壊し工	舗装版破碎	0	100	100	
5 舗装取壊し工	アスファルト殻運搬処理	0	100	100	
6 舗装復旧工	舗装復旧	0	100	100	
7 構造物撤去工	構造物破碎	0	100	100	
8 構造物撤去工	コンクリート殻運搬処理	0	100	100	
9				0	
10				0	
11				0	
12				0	
13				0	
14				0	
15				0	
16				0	
17				0	
18				0	
19				0	
20				0	

6 二次製品（LED 照明器具）に関する調査 記入要領 【二次製品（LED 照明）】

6-1 二次製品（LED 照明器具）材料費

工事費に含まれる LED 照明器具の材料費を入力してください。

6-2 LED 照明器具材料費の間接工事費（率分）対象額の取扱い

当初入札時の積算における、LED 照明器具材料費の間接工事費（率分）対象額の取り扱いについて、対象額に含めたか、含めていないか選択してください。

6-3 二次製品（LED 照明）の入力例

① 入力前

※本シートは、LED照明工事を実施した場合のみご記入ください。
二次製品（LED照明器具）に関する調査

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法：
入力箇所が間違っているため、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

1. 二次製品（LED 照明器具）材料費

※LED 照明器具の計上範囲は、以下のとおりとする。
照明器具、LEDモジュール、LEDモジュール制御装置

工事費に含まれるLED照明器具の材料費		(単位：千円)
---------------------	--	---------

2. 当初入札時の積算において、LED 照明器具材料費の間接工事費（率分）対象額の取り扱いについて

共通仮設費（率分）の対象額		下記より番号を選択してください。
現場管理費（率分）の対象額		下記より番号を選択してください。

選択番号	1 対象額に含める
	2 対象額に含めない

② 入力後

※本シートは、LED照明工事を実施した場合のみご記入ください。
二次製品（LED照明器具）に関する調査

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法：
入力箇所が間違っているため、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

1. 二次製品（LED 照明器具）材料費

※LED 照明器具の計上範囲は、以下のとおりとする。
照明器具、LEDモジュール、LEDモジュール制御装置

工事費に含まれるLED照明器具の材料費		85 (単位：千円)
---------------------	--	------------

2. 当初入札時の積算において、LED 照明器具材料費の間接工事費（率分）対象額の取り扱いについて

共通仮設費（率分）の対象額	1	下記より番号を選択してください。
現場管理費（率分）の対象額	1	下記より番号を選択してください。

選択番号	1 対象額に含める
	2 対象額に含めない